

倉吉ことばの会

第2回 講演会

2017年6月3日(土) 14:00～16:00

於鳥取県立倉吉未来中心2F セミナールーム3

倉吉のイントネーションの妙




—なにがうちらを安心させるか—

桑本 裕二

公立鳥取環境大学

0. (倉吉) 方言って何 (なに) ？

語彙レベル (◎)


- ◆ 「おせ」  「おとな」
- ◆ 「きょーてー」  「こわい」
- ◆ 「だらず」  「ばか」

語末表現 (△?)

- ◆ 「なんだってえ？」 「なにえ？」
- ◆ 「駅までバスで行くにー。」
- ◆ 「いそがしいけどせないけんだいな。」
- ◆ 「いけんわー。」

さっきの問題点

語彙レベル

- ◆ 「おせ」 = 「(成人の) 大人」か？
 - ◆ 「おせこく」  標準語で「おとなのふるまいをする」か？
 - ◆ 「かーなことできりゃ、おせだわい」の「おせ」は？
- ◆ 「だらず」 = 「ばか」か？
 - ▷ だらずけな

鳥取だらずプロレス（米子市）





たらずあなど「動」侮る。見くびる。

〔地〕鳥・米・西

たらず「名」馬鹿(者)。愚か(者)。「不足」

〔地〕鳥・米・境・倉・岩・気・八・東・西・日

〔例〕たらずにする(馬鹿にする)。〔気〕

どんだらず。〔八〕

たらずいも「名」①太り薯。②山芋。③馬鈴薯。

〔地〕気・東

たらずげな「形」ばかばかしい。馬鹿げな。阿呆らしい。

〔地〕八・西

たらずけもない「句」愚鈍わまらない。馬鹿らしいこと

さっきの問題点 <2>

語末表現

- ◆ 「わ」「が」「な」☞短くて気付かない。
- ◆ 同じ音形の語尾（助詞）と同一視。

倉吉「いけんわ。」 vs. 標準語「いけないわ。」

倉吉「こないだ言ったーが。覚えとんならんか。」 vs.

標準語「こないだ言いましたが、覚えてらっしやらない
んですか？」

倉吉「やってみないな」 「やってみーな」 vs.

標準語「大きいな。」 「すごいな。」

おまけ

倉吉「子供連れて大山に行ってきたましてな。」—
「そうかな。」

vs.

標準語「この問題の答は(2)だよね。」—「そうかな。」

それにひきかえ、音韻レベルは？ <△ or ×>

- ◆ 同じ音形の語彙は、とにかく「訛ってない」という感覚がある。
- ◆ 「うしろ（後ろ）」 「きのう（昨日）」 「すがた（姿）」 ...

倉吉

うしろ

きのう

すがた

標準語

うしろ

きのう

すがた

☞ **本講演では主にこの部分を取り挙げる。**

それにひきかえ、音韻レベルは？ <おまけ>

- ◆ 「いけりゃーせん」を標準語（またはある程度通じるだろう言い方）になおすとどうなるか？
- ◆ 「いかーでもえー」（行かなくてもよい）
- ◆ 「いかーせん」（行かない）
- ◆ 「いかーええ」（行けばいい）
- ◆ 「かーてくる」（買ってくる）

はいずれも標準語にはない音交替による（桑本 2017a）。

（なぜ？？？）

1. 倉吉方言のアクセント

- ◆ アクセント体系は、標準語（東京方言）と同じ（！！！！）。

標準語/倉吉方言のアクセント体系（名詞）

	1拍語	2拍語	3拍語	4拍語
頭高型	ひ [↑] ガ (火)	あ [↑] めガ (雨)	か [↑] らすガ	か [↑] まきりガ
中高型				うぐ [↑] いすガ
中高型			ここ [↑] ろガ	みずう [↑] みガ
尾高型		はな [↑] ガ	おとこ [↑] ガ	いもーと [↑] ガ
平板型	ひガ (日)	あめガ (飴)	さくらガ	ともだちガ

標準語のアクセント体系の形

	1拍語	2拍語	3拍語	4拍語
頭高型	ひガ (火)	あめガ (雨)	からすガ	かまきりガ
中高型				うぐいすガ
中高型			こころガ	みずうみガ
尾高型		はなガ (花)	おとこガ	いもーとガ
平板型	ひガ (日)	あめガ (飴)	さくらガ	ともだちガ

倉吉方言のアクセント体系の形

	1拍語	2拍語	3拍語	4拍語
頭高型	ひガ (火)	あめガ (雨)	からすガ	かまきりガ
中高型				うぐいすガ
中高型			こころガ	みずうみガ
尾高型		はなガ (花)	おとこガ	いもーとガ
平板型	ひガ (日)	あめガ (飴)	さくらガ	ともだちガ

◆ 倉吉のアクセント

- ☞ 低いのが普通。下がるどころ（アクセント核）があるところだけ高い。
- ☞ 平板型は原則的に全部低い。次の句のアクセント核でやっと高いか、最後だけしょうがなく高い。

◆ 東京（標準語）のアクセント

- ☞ 高いのが普通。アクセント核で下がって、後は低い。
- ☞ 最初の1拍は低い法則（initial lowering）がある。頭高型だけしょうがないので第1拍は高い。

I. アクセント型が同じ場合

a. +1型、+2型

倉吉： かまきり

標準語： かまきり

倉吉： うぐいす

標準語： うぐいす

I. アクセント型が同じ場合

b. +3以降の有核型

倉吉： みずうみ

標準語： みずうみ

倉吉： いもーとが

標準語： いもーとが

倉吉方言の平板型の表れ方

さかな

さかなが

さかなくわいや。

さかながおっだわいや。

さかながよーけおっだいや。↗

I. アクセント型が同じ場合

c. 平板型

倉吉： ともだちガ

標準語： ともだちガ

倉吉： ともだちに言ったただがー↗。

標準語： ともだちに言ったんだよ。

Ⅱ. アクセント型が違う場合

a. (倉)中高 vs. (標)頭高

倉吉： きらきら

標準語： きらきら

※他に「ロボット」「富士山」「兄貴」
「ひろし」「みほこ」など

Ⅱ. アクセント型が違う場合

b. (倉)中高 (後方) vs. (標)中高 (前方)

倉吉： おとこのこ

標準語： おとこのこ

※他に「あいうえお」「さくらもち」など

この件で参考！



マグレガーさん
Mr. McGregor (原文)

あるあさ おかあさんが いいました。
「さあ おまえたち、野はらか 森のみち
であそんでおいで。でも、おひやくしょう
のマグレガーさんとこの はたけにだけは
いっちゃいけませんよ。おまえたちの
おとうさんは、あそこで じこにあって、
マグレガーさんのおくさんに にくのパイ
にされてしまったんです」

マグレガーさん (倉吉)

マグレガーさん (標準語 (本来?))



襲いかかるマグレガーさん



参考 <2>



いえなきこ だった！

いえなきこ (本来？)

Ⅱ. アクセント型が違う場合 c. (倉)中高 vs. (標)平板

倉吉： じしん (地震)

標準語： じしん

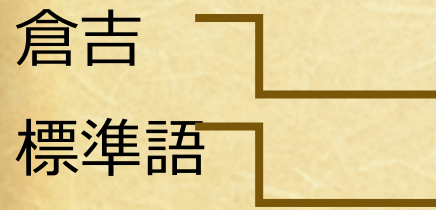
※他に「ひでお」「かずみ」「宇都宮」
「イギリス」「このごろ」「ときどき」
「おみやげ」など

参考

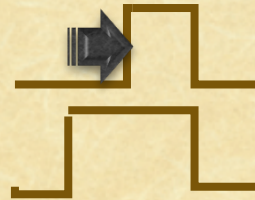
- ◆ 「ドラえもん」 だった！
- ◆ 「ドラえもん」 (本来)



I. a



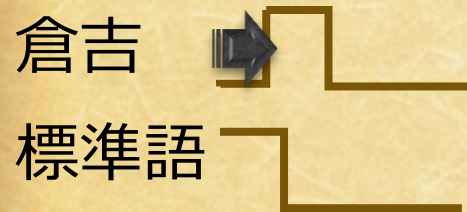
I. b



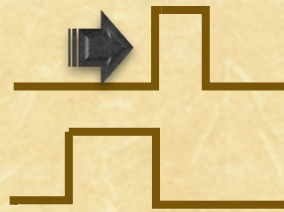
I. c



II. a



II. b



II. c

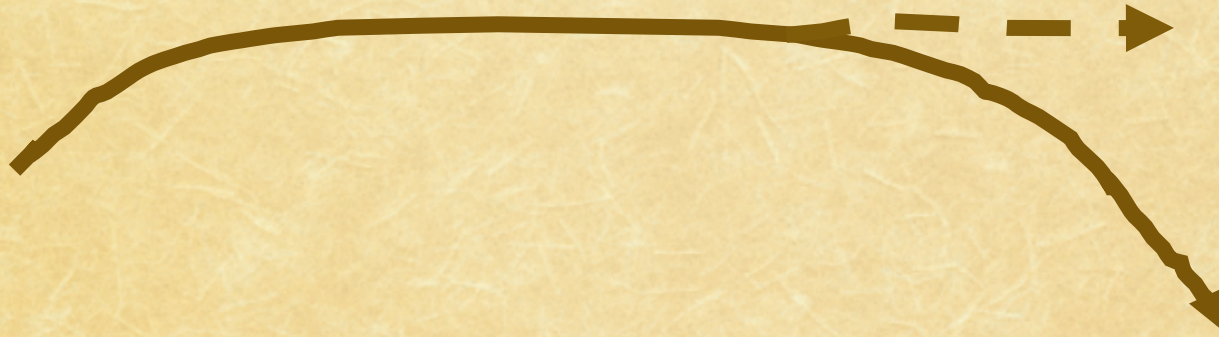


全体的にみると...

- ◆ 倉吉方言のアクセントのイメージ



- ◆ 標準語のアクセントのイメージ



2. 倉吉のイントネーション


- ◆ 大体こんな感じ



英語の場合

- ◆ 平叙文

I went to the library yesterday.



- ◆ yes-no 疑問文

Did you go to the station?



- ◆ wh 疑問文

Where do you go?



日本語の場合 (倉吉方言 vs. 標準語)

◆ 平叙文

倉吉： 昨日図書館にいっただけー。

標準語： 昨日図書館にいったんだよ。



◆ yes-no 疑問文

倉吉： 駅行きなうたか？

標準語： 駅に行っただけですか？



wh 疑問文

倉吉： どこ行きなる？

標準語： どこに行くんですか？



倉吉のwh疑問文

- ◆ なにー？
- ◆ だれー？
- ◆ どこー？
- ◆ いつー？
- ◆ なんでー？
- ◆ だーにんだいな？

—参考—

- ◆ どがしょーもない (琴浦町付近)

wh 疑問文 倉吉方言 vs. 標準語

- ◆ 倉吉

なんちゅこつたいや。

- ◆ 標準語

なんてことだ。

「がな」「わー」「にー」が付くと典型的に末尾起伏型になる

◆ いけんがな。

◆ いけんわー。

◆ いけんにー。

あいさつのことば

倉吉

標準語

◆おはよう。🔊

◆おはよう。🔊

◆さようなら。🔊

◆さようなら。🔊

◆ありがとう。🔊

◆ありがとう。🔊

◆おめでとう。🔊

◆おめでとう。🔊

強調すると 末尾起伏型になる！

◆ だらだら

☞ だらーだらー

☞ だらだらだらだら

◆ ながく (長く)

☞ なーがく

(標準語：ながーく)

上昇するパターン —「え」「で」が付く場合

◆ 聞き返し

~~なにえ?~~ 

~~なにーえ?~~ 

◆ 言い聞かせ

~~なーあ。~~ 

~~いけんでー!~~ 

~~いけんだーで!~~ 

データは桑本 (2017b)

まとめ

- ◆ 倉吉の方言は、アクセントもイントネーションも、この形におさまっているようです！

なるほどなあ！

参考文献 <1>

- ◆ 上野善道 (2003) 「第4章 アクセントの体系と仕組み」 上野善道編『朝倉日本語講座3 音声・音韻』 61-84, 東京：朝倉書店.
- ◆ 儀利古幹雄・桑本裕二 (2013) 「鳥取県倉吉方言における名前のアクセントの変化—中高型アクセントの消失—」 『日本言語学会第146回大会予稿集』 (2013年6月15日, 茨城大学) 192-197.
- ◆ 金田一春彦 (1977) 「アクセントの分布と変遷」 『岩波講座日本語 11 方言』 129-180, 東京：岩波書店.
- ◆ 桑本裕二 (2015) 「鳥取県倉吉方言における芸能人の名前等のアクセント—メディア経由の標準語アクセントの方言化—」 西原哲夫・田中真一編『現代の形態論と音声学・音韻論の視点と論点』 236-253, 東京：開拓社.
- ◆ 桑本裕二 (2017a) 「鳥取県倉吉方言における開音由来のa: とア音便について」 関西音韻論研究会2017年1月例会口頭発表, 2017年1月28日, 神戸大学.

参考文献 <2>

- ◆ 桑本裕二 (2017b) 「鳥取県倉吉方言における中高型および尾高型アクセントの優勢について—文イントネーションとの関わりについて—」 関西音韻論研究会2017年4月例会口頭発表, 2017年4月22日, 神戸大学.
- ◆ 小矢野哲夫 (2017) 「が、があ、がな、がん—倉吉方言の文末表現の一端—」 方言探求講演会 (倉吉ことばの会第1回講演会), 2017年2月18日, 鳥取県立倉吉未来中心.
- ◆ 平山輝男・室山敏昭 (1998) 『日本のことばシリーズ31 鳥取のことば』 東京: 明治書院.
- ◆ 森下喜一 (1999) 『鳥取県方言辞典』 鳥取: 富士書店.



※この講演は日本学術振興会科学研究費 基盤研究(C) (課題番号17K02678) 「鳥取県倉吉方言における平板型アクセント回避の実証的研究」 (研究代表者: 桑本裕二) の一部をなすものです。